

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、専門学校麻生リハビリテーション大学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成28年10月 6日

校 長 安 藤 廣 美

自己点検・評価責任者
校長代行 大 熊 一 博

学校関係者評価報告書

専門学校 麻生リハビリテーション大学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況.....	2
1. 学校関係者評価の目的	2
2. 学校関係者評価の基本方針	2
3. 学校関係者評価委員名簿.....	2
4. 学校関係者評価委員会実施日時.....	2
5. 学校関係者評価方法.....	2
II. 学校関係者評価内容	3
基準 1 理念・目的	3
基準 2 教育の内容	4
基準 3 教育の実施体制.....	6
基準 4 教育目標の達成度と教育効果	8
基準 5 学生支援.....	9
基準 6 学生募集・受け入れ.....	12
基準 7 社会的活動.....	13
基準 8 管理運営	14
基準 9 財 務.....	16
基準10 改革・改善.....	17

平成27年度
(2015年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、専門学校麻生リハビリテーション大学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

	氏 名	所 属
業界関係者	黒木 洋美	宮崎大学医学部附属病院 宮崎市立田野病院
業界関係者	日高 幸彦	医療法人清幸会 三原城町病院
業界関係者	井本 俊之	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部
業界関係者	比嘉 早苗	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部
業界関係者	毛利 あすか	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部
業界関係者	秋山 絵吏	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部
業界関係者	前田 知美	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部
高 校	永田 俊一	福岡県立 福岡中央高等学校
地域住民	松村 秀豊	福岡市博多区東光 公民館長
卒 業 生	西村 天利	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部
保 護 者	光田 真由美	作業療法学科（夜）3 年次生保護者

※敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

日時：平成 28 年 9 月 6 日（水）16：30 ～18：00

場所：専門学校麻生リハビリテーション大学校 2 階会議室

5. 学校関係者評価方法

平成 27 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

S：達成度が高い

A：ほぼ達成している

B：達成しているがやや不十分

C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

教育理念は開校当初より明文化し教職員に周知しています。

- ・校訓 「無私」
- ・教育方針 「専門性を高め、かつ人間性・人格の成長を図ります」

教育目的、育人人材像は学科毎に明確に定められており、学生の手引き等で周知している。実現するための具体的な計画・方法をカリキュラムやシラバスとして定めており、時代の変化に対応した内容となるように見直しも行っている。学校の特色については総合パンフレットやホームページで広く公表している。学校運営方針や事業計画は事業計画書で定めており、毎月の責任者会議で進捗を確認している。

主な課題及び改善の方向性

教育理念を実現するために時代の変化に対応した内容となるように見直しを継続していく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

オープンキャンパスや学校説明会、営業活動等により、学生、保護者、高校の教育現場にも教育理念が伝わっていることが、信頼につながっている。

時代の変化に対応した教育内容の見直しは、職業教育を実践する専門学校として、今後も引き続き進めていただきたい。

中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像は、明文化し社会に公表しているか。

理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「建学の精神」および「法人の理念」は開校当初より明文化し、教職員、学生に周知している。その内容については総合パンフレットやホームページで広く公表している。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育理念、育人人材像は明確に定めており、学生便覧等で周知している。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育理念、育人人材像を実現するための具体的な計画・方法をカリキュラムやシラバスとして定めており、社会状況の変化に対応した内容となるように見直しも行っている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科の教育目的や育人人材像は、法人の理念と各校の教育理念から展開したのものになっている。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科の教育理念、育人人材像を実現するための具体的な計画・方法をカリキュラムやシラバスとして定めている。文書化し、教員・学生に提示しており、内容を理解している。総合パンフレットやホームページなどで学外にも公表している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

施設・設備については厚生労働省の養成校についての指定規則において必要な施設基準、備品が明確に定められており当校は監査においても満たされていると評価されている。また、PT、OT 学科はリハビリテーション教育評価機構の評価認定を受けている。更に、OT 学科は世界作業療法士連盟(WFOT)の定める認定校の国際基準を満たしている。

=====

基準 2 教育の内容

=====

項目総括

教育目標や人材育成は各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしている。また、カリキュラムは教務会議やカリキュラム会議等で検討し体系的に編成しており、各科目間のつながりも適正である。教科毎のシラバスも作成しており事前に学生に配布し、到達目標を説明している。

授業評価は学生アンケートを実施しており、結果をフィードバックすることにより授業の改善に繋げている。教員については学科の育成目標に向けた授業を行なうことができる要件をみたしており、人材開発システムに基づきスキルの向上を図っている。成績評価・単位認定は明確に定められており学生便覧で周知している。

主な課題及び改善の方向性

カリキュラム作成においては、高校の現状を取り込むため、広報課から高校関係者のヒアリング情報及び業界ニーズを取り込むため、就職課から業界情報を教務にフィードバックしカリキュラム開発を行なっている。教育課程編成会議において、今後も業界からの意見を取り入れ、特に臨床実習等のカリキュラムについては詳細にわたる内容の構成に力を入れる。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

教育課程編成会議による教育の連携において、会議での決定事項は双方の協力により、忠実に実現され、次回の会議によりその検証と改善が図られている。

中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

教育目標や人材育成は各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、各学科の教育期間で到達可能なレベルとしている。カリキュラム構築の考え方や教育内容を文書化している。教員がカリキュラムの考え方を理解している。その概要については総合パンフレットやホームページで広く公表している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科でカリキュラム、シラバスは作成し学生に配布している。シラバスは事前に学生に配布し、到達目標を説明している。コマシラバスは作成し教職員で共有している。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラム作成においては、高校の現状を取り込むため、広報課から高校関係者のヒアリング情報及び業界ニーズを取り込むため、就職課から業界情報を教務にフィードバックしカリキュラム開発を行なっている。教育課程編成会議において、業界からの意見を取り入れ、特に臨床実習等のカリキュラムについては詳細にわたる内容の構成に力を入れている。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラムは教務会議やカリキュラム会議等で検討し体系的に編成しており、各科目間のつながりも適正である。

中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートの結果に基づき教員に対しては、面接指導を行い、改善策を検討している。改善計画書をもとに改善活動しており、管理職と計画を共有し、管理職が進捗管理している。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業や実習・演習の内容については、医療機関と連携した教育課程編成委員会を通じて内容の見直しを行っている。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

全教員が企業と連携した「医療機関研修」を定期的の実施しており、専門領域分野での研鑽を図っている。専門分野や担当分野に関する学会、研修会への参加を行っている。

中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

厚生労働省の定める指定規則に基づき、病院、福祉施設などでの実習は 1,000 時間を越える。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

GCB 教育は 1、2 年次の時間割に組み込み実施している。日々の指導に加え、定期的なマナー教育が行われている。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

新入生に対する入学前課題を行っている。実施後の評価を行ない、学習上の支援が必要な学生に対し授業支援セミナーを実施している。

=====

基準 3 教育の実施体制

=====

項目総括

教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズ行われるように教職員を組織化しており、事業計画書に掲載している。学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知している。

就職支援に関しては、就職サポートセンターを設置し、求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃えるとともに、各学科や地域の求人に対応できる専属の就職担当者を設け、クラス担任と連携を取り就職のサポートを行っている。

学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を実施している。また、万一の事故に備えて、学生災害傷害保険に加入している。

主な課題及び改善の方向性

教育体制の整備のため「授業運営会議」を発足し、きめ細やかな教育環境の実現を目指す。

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

教育は各部署のそれぞれの責任が明確にされる中で、組織的に実施されている。また、その部署ごとの業務の内容についても細やかに役割分担がなされ、必要な連携がスムーズに行われている。

中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■学校関係者評価結果:適合

■自己点検・評価結果: **A**

小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

関係法令に基づき、教員の採用は厚生労働省の資格要件に定められている事項に留意して募集活動を進め、業界の専門性及び経験、必要な資格・教育に対する意欲等を持った教員を採用している。

小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

関係法令に基づき、専任教員を適切に配置している。

小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

毎年、全非常勤講師を対象に講師会を実施し、学校方針や各学科の教育方針を共有している。また、非常勤講師と専任教員(担任)は授業毎に授業報告書をやり取りする。理解が困難な科目や学生が苦手とする科目は、その時々々のクラスに応じたフレキシブルな対応のできる常勤によるフォロー授業を行っている。

中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 3-2-4

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

関係法令に基づき、冊数、分野ごとの整備を行っており、学生が利用できる環境は整えている。また、図書に関しては蔵書のみではなく、医学文献配信サイト「メディカルオンライン」との契約により、在校生、教職員が医学文献の検索、全文閲覧、ダウンロードをできる環境を整えている。

小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

就職コーナーを設置し、求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃え、るとともに、各学科や地域の求人にも対応して、学生の希望に添えている。就職支援に関しては、就職担当者を配置し、クラス担任と連携を取り就職のサポートを行っている。

小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

臨床実習の心得により健康管理や事故報告の規定を周知させている。学生災害傷害保険に加入することで、学内外(通学・実習含む)での安全を担保している。健診の際に感染症に対する抗体価を確認し、ワクチン接種を推奨し、確認している。

小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。1回/年に教職員および、在校生が参加して防災訓練を実施している。

小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

清掃業者による日々の清掃と学生による終業後の清掃により清潔が保たれている。学内の整理・整頓に関して担当を決め、定期的に管理、チェックしている。学内の整理・整頓・清掃に関するルール等を文書化し教室などに掲示している。

小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

計画的に改善を進めている。今年度は8階フロアを対象として実施した。

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

項目総括

年度開始前に学科会議で前年度の結果や評価を考慮し、学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で全教職員が情報共有、周知できるようにしています。就職に関しては各学科について月毎の目標を設定している。

内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行っている。就職担当と担当教員で毎週実施している定例会議やミーティングの中で、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行っている。外部に対しては学校のパンフレット・HP・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで就職実績を公表している。

評価・成績・資格・検定・退学に関しても担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録するとともに教務会議などで教職員が共有している。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

年度開始前に立てられた目標に関しては、毎週行われている会議にて進捗の管理が行われていて、正確な結果が公表されている。

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

年度開始前に学科会議で前年度の結果や評価を考慮し、学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で全教職員が情報共有、周知できるようにしている。試験委員会を組織し、定期試験の管理、運営、検証を前後期試験毎に行ない職員会議で報告・共有している。成績表等は学内システムのデータベースに記録している。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 国家試験結果報告書で報告・検証し、次回への改善の取り組みを明確化している

小項目 4-1-3

該当せず

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行っている。就職担当と担当教員で随時実施している会議やミーティングの中で、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行っている。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

年度開始前の 3 月に各学科・各クラスとして目標を設定し、キックオフ会議で全教職員と共有している。卒業率のアップに関する目標・計画を策定し、教務会議および責任者会議で進捗管理と改善のための協議を行っている。

小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学校システム(麻生塾システム)にて記録を保管している。卒業生の就職状況は就職・募集用パンフレット、HP等で公表している

小項目 4-1-7

卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

就職先病院への顧客満足度調査により就業者の状況の把握ができる仕組みを確立している。

=====

基準 5 学生支援

=====

項目総括

合同就職説明会、病院別人事担当者・OB・OGによる病院別面接指導や業界理解セミナー、職種理解セミナーなどを積極的に実施した。

学生相談に関してはスクールカウンセラーが相談に応じている。学生の経済的な支援は分割納入制度や各種奨学金については学生課が行っており有効に機能している。学生の健康管理については、毎年健康診断を行っており、感染対策委員会を開催し、学校医の指示のもと予防措置等を図っている。

保護者との連携は、電話連絡で日常的に行っているほか、適宜三者面談を行っている。また、保護者会を開催して、学校の取り組みと就職活動の状況について報告している。

卒業生に対しては、「既卒向け求人の情報提供や同窓会組織「校友会」より郵送による定期的な情報提供を実施しています。(毎年1回総会開催)

主な課題及び改善の方向性

各医療・福祉機関の特徴を把握し、学生一人ひとりの希望の就職につなげるため、さらなる情報収集に務める。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

学生相談を受け付けるスクールカウンセラーやハラスメント相談窓口が設置され、利用方法も周知の徹底が図られている。相談件数によっては今後、学生相談日の増設も考慮されたし。

中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

前期・後期の担任面接だけでなく適宜担任による面接を行っている。面接の結果はガイダンス記録により教員間および管理者で共有している。

小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

キャリアサポート関連の有資格者は、キャリアサポートセンターに常駐し学生のカウンセリングを行っている。

小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

臨床心理士による学生相談室を設置し、スクールカウンセラーとして相談に応じている。

小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

ハラスメント相談員を設置し、担当教員がその窓口として機能している。また、担当教員名を掲示板に掲示し周知を図っている。

小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

保護者会を毎年 1 回開催して、学校の取り組みと就職活動の状況について報告している。また適宜、三者面談を実施している

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学生の経済的な支援は学生課が行っており、分割納入制度や各種奨学金について有効に機能している。また、関連病

院からの奨学金制度があり、入学前・後に説明を行っている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

社会人学生の受け入れを積極的に行っている。また、入学後に学習上、生活上の障がい判明するケースもあり、その際は個別に対応し、必要があれば保護者、主治医をとも情報共有、連携を行い合理的な配慮を勘案し、実施している。

小項目 5-1-8

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

必要な家具・家電を完備した学生寮があり、食事、通学経路など安全に配慮した学生の生活支援等を行なっている。

小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

授業以外の課外活動に対する人的・財政的な支援を行なっている。

中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

「三樹会」として定期的に総会を行ない卒業研修や卒業生同士の交流の場を設けるなど、活発な活動を行なっている。

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

再就職斡旋希望者に対しては個別に随時紹介、斡旋を行っている。

小項目 5-2-12

卒業生の就業先へ定期的な訪問をして就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

就職課および教務部で行っている。

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ホームページで知らせている。

小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント ホームページで知らせている。

小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント ホームページで知らせている。

小項目 5-3-16

学校情報を企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

企業向けパンフレットを年2回送付している。

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

項目総括

学生募集は、募集要項、Web サイト等で公表している。入学事前説明会・学校説明会説明において学生および、保護者に説明を行っている。学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示している。入学試験面接および、入学選考は、教員、広報担当者などにより選考が行われ、入試選考基準は公正かつ適切に実施している。選考結果については、受験者本人、受験校校長へ文書にて連絡し、高校へは直接選考結果を説明しております。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

適切な入学選考が行われ、入試選考基準も明確に規定されている。

=====

中項目 6-1

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示している。

小項目 6-1-2

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示している。

小項目 6-1-3

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学校案内等には学費・教材費、実習にかかる費用等をわかりやすく明示している。

小項目 6-1-4

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学校案内に入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施している。

小項目 6-1-5

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を正確に伝えている。

小項目 6-1-6

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO 法人・ボランティア団体等への支援や教職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受け入れなど、積極的に社会貢献を進めている。

学生のボランティア活動は、推進委員会を設け学校毎あるいは各々の学校教育内容の特徴を活かした連携を図りながら推進している。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

学生に対しては、学内の職員で構成されるボランティア委員会を介して、活動の支援が行われている。また、教員自ら、地域へ向けての健康増進講座等へ講師として参加する等の活動も行われている。

=====

中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

=====

小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

自主的な活動として推奨している。地域からの要望に応じた様々な活動を実践しているが評価・単位認定はしていない

小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

全ての教員が各職能団体と関連団体に所属している。その団体の役員として活動しているものが多く、定期的な会合に参加し学校運営に生かしている。

小項目 7-1-3

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

地域に向けた公開講座を行なっている。

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

社会貢献を目的として企業・地域・行政等の依頼を受け、出張講義・指導を行っている。

=====

基準 8 管理運営

=====

項目総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるためにコーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの遵守徹底に努めている。

平成 25 年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めている。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

教職員を評価する目標設定や評価は目標設定シートで管理されている。また、個々の職員に関する個別の面談等も細やかに規定されていて、年3回進捗と評価が行われているので、適正と考える。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

MM 会議、共有会議の内容はイントラおよび責任者会議(毎週)や教職員会議(隔週)で共有し、それぞれ議事録を作成している。

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用している。

小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示までにはいたっていない。

小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C（不適合）

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾ルールブックにより、危機管理体制のガイドラインを定めており、緊急事態に応じた対処法を細かく示している。

小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報保護管理規程として文書化しており、適切に運用している。教職員は全員内容を理解し、規程に基づき行動している。

小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント防止に関しては、ルールブック7,8 ハラスメント防止に記載し、全教職員に周知を図っている。また、ハラスメント委員を配置しその対応を行なっている。

小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

SDに関する研修は1年間を通じて計画を立てており、コンプライアンス、アカデミックハラスメント、関連法規などの研修を予定している。

=====

基準 9 財 務

=====

項目総括

年度予算を計画的に管理しており、今年から四半期毎に経営会議に報告している。またコンプライアンスを遵守し学校会計原則のルールに従い会計処理を行っている。

各校も監査ルールに従った監査を実施し文書による結果報告を行い正しい会計処理・運営に関して指導を行っている。
外部監査も毎年受け承認を受けている。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

外部による監査が毎年適正に行われている。

中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

年度予算は作成し、理事会にて承認している。中期計画は実施計画を作成している。

小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

責任者が予算執行を行い、月毎に状況を確認している。

小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

固定資産管理規程を作成し、規程に従い適切に管理・運用している。

小項目 9-1-6

図書管理規程(本部および養成施設等)を文書化し、適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。固定資産に計上されている図書の把握が課題。

=====

基準 10 改革・改善

=====

項目総括

自己点検・評価委員会を組織しており、評価項目ならびに評価時期を明文化している。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ会議等で共有する機会を設けている。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

自己点検・評価の結果は全教職員に周知が図られ、ホームページを通じて、公表されている。

=====

中項目 10-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

=====

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価委員会を組織しており、評価項目ならびに評価時期を明文化している。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ会議等で共有する機会を設けている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けている。

小項目 10-1-3

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

毎年定期的に自己点検・評価を行ない、改善計画を作成し、実行している。改善状況については、内部監査にて検証している。

小項目 10-1-4

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開している。